

## ▼有田コンピュータの目的▼

有田コンピュータは「IT事業を通じ地域に貢献する事」

「顧客のパソコンによる業務改善を追求し、互いに利益を創り出し発展していく事」を目的として活動しています。

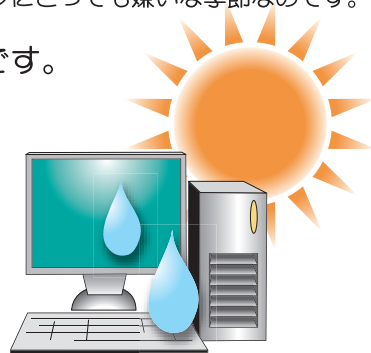
## 湿気と暑さに要注意

うっとうしい梅雨の季節。この季節が嫌いなのは、私たちだけではありません。パソコンにとっても嫌いな季節なのです。

パソコンの動作に悪影響を与えるものは、主に熱、高湿度、振動(衝撃)です。振動は一年中可能性があるものですが、夏場は残り3つのうち2つがそろそろ「災害の季節」です。

ウイルスへの感染防止や不正侵入、情報漏れから守ることはもちろんの事、この季節はパソコンが嫌がる熱や高湿度への対策をとることも大事になってきます。

熱や、湿気対策でパソコンを長持ちさせ、夏場を乗り切りましょう。



## 夏場を乗り切るポイント

もともとコンピュータはエアコンが完備した部屋で稼働するものとしてつくられたものです。熱と湿気には十分な注意が必要です。

### パソコン内部の温度を上げない・排気に気をつける

内蔵ハードディスクが動作保証されているのは通常50度ぐらいまでです。エアコンなしには室温が30度を超える夏場に、直射日光の当たる場所でパソコンを使用すれば、この動作保証温度は簡単に超えてしまいます。日本で人気のある省スペース・薄型機は、内部空間が狭く、熱がこもりやすい構造になっていますので、注意が必要です。

パソコン内の温度を上げないようにするには、排気に注意することが重要です。パソコンの裏側には電源ファンや排気ファンがあります。壁などにピッタリと近づけてしまうと、排気した温風を吸い込んでしまい、冷却効率が下がります。壁とパソコンの間に余裕があっても、ケーブルがからみ合ったりなどしていると排気に悪影響を与えます。



▲ファンの部分はなるべく塞がないように

### 使いすぎも、使わないこともよくない

パソコンの主要部品は、サーバ用に設計されたものをのぞき、24時間365日運転し続けるようには設計されていません。そのため、朝から晩までパソコンを起動したままというのは行き過ぎになり、故障を起こす確率が高くなります。逆に、数日間にわたってまったく起動しないということも、パソコンにはよくありません。ほこりや湿気が累積することになるからです。とくに、夏場の閉め切った部屋に数日間パソコンを放置する、ということは避けましょう。メールチェックのためだけでもよいので、毎日起動した方がパソコンの長持ちにつながります。

### 湿気は大敵！机の上にも用心

熱と同じく、パソコンには湿気も大敵です。水分は部品を腐食させ、ショートなどトラブルの原因となるからです。過度の湿気を防ぐには、部屋の除湿を行きましょう。除湿器があるなら、1日数時間程度でもつけておくとういですが、エアコンをつけていても除湿になります。除湿器では、湿度を60%以下に抑える設定になっているものが普通です。パソコンの安定的な動作には、このままで問題ありません。

編集者より：メンテナンスを怠らなければ、パソコンは長持ちするものです。

パソコンはまだまだ高い買い物。大事に使う心がけを忘れないようにしましょう。(タナカ)